

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

そお市レディーが変わりました



写真左から赤池良美さん、柿内佑美さん、
大村由加里さん、池田沙由里さん

4月27日、市役所で平成23年度そお市レディーの委嘱状交付式と退任式が行われました。

そお市レディーは、各種イベントや物産展などを通じて、曾於市の広報PR活動を2年間にわたって行っていた観光協会が行う事業です。今回は、前任の池田沙由里さんが任期満了により退任されることに伴い、新たにそお市レディーへ就任される柿内佑美さんへ委嘱状が交付されました。

式では始めに池田さんへ花束が贈呈された後、就任するそお市レディーへ委嘱状が交付され、「曾於市の特産品や観光地などを学んで、市内外へ広くPRできるようがんばります。」などそれぞれに抱負を話されました。

「曾於市観光ボランティアガイドの会」を発足しました



4月25日、曾於市観光特産開発センターは、メセナ温泉の研修室にて「曾於市観光ボランティアガイドの会」を22名で発足致しました。

曾於市は観光を振興していますが、観光に不可欠な観光ガイドが不在ですので、観光客が訪れても曾於市の素晴らしさが伝わらない状況です。

このため、本会を発足させ、平成23年度はおもてなしの心得、説明の仕方等を学び、平成24年度から曾於市の素晴らしさを伝えることにより、観光の振興につなげることをしています。

まだ観光ボランティアガイドを募集していますので、希望がありましたら曾於市観光特産開発センターまでご連絡下さい。

創立 50 回目の記念すべき入学式 大隅南小学校



4月6日、大隅南小学校で（校長：新留智子 全児童：12名）で、創立以来第50回目の記念すべき入学式がありました。当日は、たくさんの来賓の方々の出席の中、盛大に行われました。今年の入学者は、岩下梓くんの1名でした。式の中で、校長先生から「聞く」ことの大切さについてお話があり、小学校に入学する心構えをしっかりと聞くことができました。

また、PTA会長の村下孝次さんからは、大隅南小学校の児童の一員として、早く慣れて楽しい学校生活を過ごしてくださいとの話もありました。

児童代表の6年生岩下沙羅さんは、「入学してくるのをずっと待っていました。学校生活でわからないことがあったら、お兄さん、お姉さんに聞いてください。」と歓迎の言葉を話してくれました。

人権擁護委員委嘱



左から池田市長、新任の永山たみ子さん、退任の廣川ミドリさん、芝原支局長

4月27日、市長室で人権擁護委員の委嘱状交付式が行われました。

今回は、人権擁護委員として大隅地区の永山たみ子さん（初）に法務大臣からの委嘱状を鹿児島地方務局 芝原芳孝 鹿屋支局長から交付されました。

曾於市には、各地区3人ずつの9人が人権擁護委員として委嘱され、人権相談をはじめ各種活動を展開されております。

池田市長は、「地域の様々な相談、人権問題に、今までの経験を生かして、曾於市の人権等を守るためにご尽力ください」と話されました。

自転車盗難モデル校 大隅中学校



4月28日、大隅中学校体育館で自転車盗難防止モデル校指定の交付式がありました。

この式では、はじめに二輪車普及協会の隈元道雄さんと本村武弘さんによる自転車の正しい施錠の仕方について説明があり、二重ロックが盗難防止に大きな役割を果たす等の講話がありました。

またモデル校の指定を受けた大隅中学校を代表して、3年の横川桂子さんが防犯登録をすることやワイヤー錠で二重ロックをすること、自転車を大切に扱い正しい場所に駐車することなどの「自転車盗難防止宣言」を読み上げました。

最後に自転車に乗る時のルール、事故による賠償事例などのビデオを鑑賞し、事故の恐ろしさと責任や義務の大きさを改めて感じるひとときでした。

皆さんも安全運転に十分つとめましょう。

「花見（桜） ミステリーツアー」を行いました



4月3日、曾於市観光特産開発センター主催で曾於市内全域の「花見（桜） ミステリーツアー」を行いました。

この企画は、曾於市の木が「桜」であること、曾於市には知られていない桜の名所が多数あること、桜の名所を新たな観光資源としたいことから実施したものです。

参加者は52名、見学場所は車内からの見学（4か所）を含めて13か所で、桜の品種は染井吉野・大島桜・江戸彼岸桜・八重桜・山桜等を見ることが出来、また各名所それぞれ地形等が異なりバリエーションに富んだ花見を楽しむことができました。

また、ガイドさんから山桜の特徴、日本三大桜、テングス病、ひこばえ、桜湯、桜の寿命等についての説明もあり、幅広い勉強をすることが出来ました。お昼は、おおすみ弥五郎伝説の里の桜に囲まれて弁当を美味しくいただきました。

ツアーに参加された人は、「初めての所が多くて曾於市を見直した」「曾於市にこんな素晴らしい桜の名所が沢山あるとは知らなかった」「桜の勉強が出来て楽しかった」と大好評でした。

写真は大隅総合運動公園で記念撮影したものです。

行政相談員委嘱



4月26日、市長室で曾於市行政相談員の委嘱状交付と感謝状贈呈式がありました。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱され、全国すべての市町村の区域を単位に配置されています。行政相談委員は、自宅で相談を受けるほか、定めた場所での定例相談、場所を巡回する巡回相談、あるいは他の各種相談委員などと合同相談を行うなどにより、常時、住民の身近なところで、気軽に相談に応じています。

曾於市からは、今回写真左2番目から鮫島一郎さん、池田睦朗さん、稲留正文さんが委嘱されましたが、写真右から2番目、末森勇さんには行政相談制度の発展に寄与されたことへの感謝状が贈られました。

新燃岳被害に義援金



4月26日、社団法人 曾於法人会青年部（久徳浩会長）の方々が市長室を訪問し、新燃岳噴火の被害に遭われた方の為に使ってくださいと義援金を贈られました。

市長は「大変ありがたいという気持ちです。曾於市のみならず南九州地域では、去年の口蹄疫や水害、今年の新燃岳噴火の影響で少なからず元気を失っています。頂いた義援金を農家等の元気を取り戻すために使わせていただきたいと思います」と述べました。

義援金額 124,000円

和がふる里の祈念塔



4月29日、向江公園に関西地区末吉会の祈念碑・祈念塔が設置されました。

同会は、平成4年6月に発足し、今日まで末吉町の発展のため、合併後は曾於市発展のためにひとかたならぬご厚情をいただいております。このたび20周年を迎えるにあたりまして、故里の地に祈念碑・祈念塔を設置していただきました。

祈念碑には「和がふる里の祈念塔」と刻まれております。

※碑文には次の意味が込めておられます。

和・・・平和で穏やかな愛着心をもつ。常に自分に勝つことから始まりますが、和の場合は自分を抑え人を立てることから始まる。

祈・・・祈りを込めて

念・・・深く想い

塔・・・20年間の想いを積み重ねる

地域が一丸となり、安心・安全のまちづくりを



5月10日、曾於警察署で、春の全国交通安全運動・地域安全運動出発式が開催されました。

当日は、少し湿った曇り空でありましたが、地域性を生かした特色のあるジャンパーを着用した、それぞれのボランティア団体、29団体173名が一堂に会し、曾於市の安全・安心を守る為、意思統一がはかられていました。

出発式の後、警察署施設内で輪光保育園の園児さんたちによる、はつらつとした力強い和太鼓の演奏があり、式に花を添えてくれました。

春の地域安全運動の重点項目は、1.子どもと女性の犯罪被害防止 2.万引き、自転車盗難防止 3.振込め詐欺の被害防止でした。

曾於警察署管内でも空き巣や車上狙い、農機具等が持ち去られる被害も発生しています。外出する時は、隣に一声かけて外出する、車にはドアロックを必ずすること、不審な行動をする人や車を見かけたらすぐに110番することなど市民が一丸となり、犯罪に対する備えを十分行い、安心・安全なまちづくりに努めましょう。



新燃岳降灰の備えに



5月10日、市長室に鹿児島県建築設計監理事業協同組合と鹿児島県建築士事務所協会の方が訪問し、新燃岳降灰除去の為に役立ててくださいと降灰袋50,000枚が贈られました。

市長は「今後の新燃岳の噴火状況をみながら有効に活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べました。